

事務事業実績測定調書

R5調書番号 117

事務事業名称	取替用私設水道メーター貸与事業												
測定年度	2023(R5)年度				部	上下水道部				課	上下水道財務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1995 (H7) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	計量法 ・ 集合住宅等に係る私設メーター取替費用の補助に関する要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	集合住宅等(市が検針している私設水道メーターが設置されている場合に限る)の所有者(個人、管理組合、管理会社等)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各戸における水道メーターは計量法に基づき8年ごとの取替が必要となり、水道料金の各戸検針・各戸徴収の協定を締結している集合住宅の私設メーターにおいては、取替の推進を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	計量法の規定による集合住宅等の私設水道メーターの取替えは当該メーターの所有者に委ねられていることから、市水道メーター利用者との公費負担の公平性確保を図る必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新を図っていくこと。				
事業概要	R5年度から私設水道メーターの取替に対し、市がメーターを貸与する制度を開始する。 直読式メーターのみ貸与の対象とし、遠隔指示式メーターは直読式に変更することで貸与の対象とする。 貸与メーター設置着手の申請について、申請内容の審査、メーターの貸与を行い、取替後の確認を行う。 ※メーター貸与の開始に伴い、私設メーター取替時の補助金の交付はR4年度末をもって終了。 ■事務処理の概要 ①貸与メーター設置着手届の受付 ②申請内容の審査→貸与メーター引換書の送付 ③貸与メーター引渡書と貸与メーターの引換 ④貸与メーター設置完了報告書→初回検針時に支障がないことを確認				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新がなされる。				受理した申請に対し、内容確認のうえ、対象者に補助金を交付する。				私設メーター取替事業補助金の申請を受理する。			
指標設定	指標説明	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に私設メーターを更新される割合 【算出式:期限内に更新された私設メーターの件数/本市が検針している私設メーターの件数×100】				公費負担額と補助額の差(変動率) ※補助金の見直し方針に基づき、R5年度以降の変動率は改定となる場合がある。 【算出式:(公費負担額－補助額)/公費負担額×100】				申請件数に対する補助金交付率 【補助金交付件数/申請件数×100】			
		単位				単位				単位			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	90	92	94	80	±30	±30	±30	－	100	100	100	－
	実績	80.70	76.05	71	79.19	3.75	3.75	4	－	100	100	100	－
達成度		99%				－				－			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル②		集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に計画的に私設水道メーターの更新がなされる。				受理した申請に対し、内容確認のうえ、水道メーターを貸与する。				貸与メーター設置着手の申請を受理する。				
指標設定②	指標説明	集合住宅等の所有者が計量法に規定する期限内に私設メーターを更新される割合 【算出式:期限内に更新された私設メーターの件数／本市が検針している私設メーターの件数×100】				申請個数に対しメーターを貸与した割合				申請個数				
		単位	%											単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	90	92	94	80	－	－	－	100	－	－	－	4,196
		実績	80.70	76.05	70.86	79.19				100				3,675
	達成度		99%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,571	12,499	13,422		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,571	12,499	13,422		
歳入	物件費計	15,067	15,949	12,023	22,856	52.6%
	歳出計	27,638	28,448	25,445		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15,067	15,949	12,023	22,856	

5. 総括的分析

総括的分析	私設メーターの取替事業にあたっては、所有者に対して事前に取替え案内を実施しているが、取替え作業に関しては所有者に委ねられているのが現状であるため、引き続き所有者に取替えを促していく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	検定満期の1年前に有効期間満了までに取り替えるよう案内を送付し、取り替えを促している。検定満期経過分については、勧奨通知で取り替えを促している。引き続き、有効期限満了までの取り替えを促していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 639

事務事業名称	水道料金・下水道使用料賦課徴収事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	上下水道部			課	上下水道財務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	水道法 ・ 枚方市水道事業給水条例 ・ 下水道法 ・ 枚方市下水道条例 等				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	水道及び公共下水道の使用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	使用水量に応じた水道料金・下水道使用料を納付する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	すべての使用者が滞納無く納付期限内に納付している状態。				
事業概要	水道使用者に対して、水道料金及び下水道使用料を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。 ■事務処理の概要 ①水道使用申込(開栓)の受付 ②検針(使用水量確定) ③水道料金及び下水道使用料の算定(調定) ④水道料金及び下水道使用料の請求(口座振替・納付書送付) ⑤水道料金及び下水道使用料の徴収				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			水道料金の徴収を行う。				水道料金を賦課する。			
指標設定	指標説明		水道料金徴収率 (現年度分翌年度5月末) 【算出式: 現年度徴収額 / 現年度調定額 × 100】				水道使用者のうち水道料金を賦課する割合 【算出式: 水道料金の賦課件数 / 水道使用者 × 100】			
			単位				単位			
			%				%			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度		100%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
						下水道使用料を徴収する。				下水道使用料を賦課する。						
指標設定 ②	指標説明					下水道使用料徴収率 (現年度分翌年度5月末) 【算出式:現年度徴収額／現年度 調定額×100】				公共下水道使用者のうち下水道 使用料を賦課する割合 【算出式:下水道使用料の賦課件 数／公共下水道使用者×100】						
					単位	%							単位	%		
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標 数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)						99.33	99.34	99.35	99.36	100	100	100	100	
		実績						99.43	99.48	99.56	99.62	100	100	100	100	
達成度						100%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.87
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.85
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	43,444	42,463	43,487		
	会計年度任用職員	2,364	2,434	2,163		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	45,808	44,897	45,650		
歳入	物件費計	337,501	330,199	256,907	376,152	68.3%
	歳出計	383,309	375,096	302,557		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費に
	府支出金	0	0	0	0	ついては、人員配置
歳入	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	をもとに平均人件費
	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	費に充当されるもの
一般財源（物件費に充当されるもの）		337,501	330,199	256,907	376,152	のみを記載していま

5. 総括的分析

総括的分析	適正かつ効率的に債権の管理・回収を行うために、未納額や未納者の状況に応じて、料金の徴収サイクル(督促・催告・訪問徴収及び給水停止)を行っている。また、委託業者とのワーキングの実施、滞納処分への取り組みが高い徴収率につながっていると考え。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市債権管理及び改修に関する条例を踏まえ、適切な賦課・徴収を執行していく。また、委託業者による徴収サイクル(督促・催告・訪問徴収及び給水停止)にあわせ、債権回収課所属の弁護士と連携し、滞納処分等の法的措置を効果的に実施することにより徴収強化に取り組む。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 656

事務事業名称	下水道事業受益者負担金賦課徴収事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	上下水道部			課	上下水道財務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1966(S41)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	都市計画法 ・ 東部大阪都市計画下水道事業受益者負担に関する条例 等				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道が整備される区域内の土地の所有者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公共下水道事業の整備に要した費用の一部を納付する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	すべての対象者が滞納無く納付期限内に納付している状態。				
事業概要	公共下水道排水区域の土地所有者等に対して、受益者負担金を賦課(算定・請求)し、徴収を行う。 ■事務処理の概要 ①公共下水道排水区域の確認(現地調査含む。) ②受益者負担金賦課対象土地通知書(事前通知)の送付 ③受益者負担金に関する相談会の開催 ④受益者変更・賦課保留・減免に係る申請の受け付け・審査 ⑤受益者負担金の算定(調定) ⑥受益者負担金の請求(納付書送付) ⑦受益者負担金の徴収				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						下水道事業受益者負担金を徴収する。				下水道事業受益者負担金を賦課する。					
指標設定	指標説明					受益者負担金徴収率(現年度分) 【算出式: 現年度徴収額／現年度調定額×100】				下水道供用開始区域のうち下水道事業受益者負担金を賦課する割合 【算出式: 供用開始区域内の賦課件数／供用開始区域内の土地所有者×100】					
					単位	%	単位	%							
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						95	96	97	98	100	100	100	100
	実績						99.60	98.10	97	99.61	100	100	100	100	
達成度						102%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,000	10,937	10,264		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,000	10,937	10,264		
	物件費計	1,266	7,849	7,822	8,078	96.8%
歳出計		12,266	18,786	18,086		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	4,692	3,690	894	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	4,692	3,690	894	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,266	3,157	4,132	7,184	

5. 総括的分析

総括的分析	対象者全員に通知を行い、滞納者に対し委託業者と連携して徴収の取り組みを行ったことが良好な結果につながったと考える。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、受益者負担金の適正な賦課・徴収を行い、各種事務を執行していく。令和5年度も引き続き、債権管理の強化、効率的でより効果的な徴収体制の構築、滞納の未然防止の取り組みを柱に取り組みを推進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 794

事務事業名称	上下水道局財政・会計事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	上下水道財務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	上下水道局の各部署			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	・将来にわたり、持続可能な安定経営を維持できるよう、さらなる経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	・公金について、適正に出納管理を行うとともに、安全で確実な資金管理を行う必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	・健全な経営基盤を確立するとともに、中長期の視点での財政マネジメントにより、持続可能な安定経営を維持できている。 ・公金について、適正な出納管理ができており、また、安全で確実な資金管理ができています。				
事業概要	財 政：経営戦略(平成30年度策定)に基づく健全な財政運営。 予算編成および決算業務。 予算書および決算書の編集・発行。 会 計：収入・支出の確認および審査業務。 現金等の適正保管・記録管理。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						【水道事業】 当年度純利益が計画値と大きく乖離しない。				【水道事業】 水道事業経営戦略等に基づく予算編成や執行管理を実施する。				
指標設定	指標説明					当年度純利益				当初予算編成回数				
	単位		百万円		単位		回							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					1,048	1,136	1,051	909	1	1	1	1
達成度						165%				100%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						【下水道事業】 当年度純利益が計画値と大きく乖離しない。				【下水道事業】 下水道事業経営戦略等に基づく 予算編成や執行管理を実施する。			
指標設定②	指標説明					当年度純利益				当初予算編成回数			
							単位	百万円			単位	回	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					1,662	1,495	1,385	1,390	1	1	1	1
	実績					1,500	1,702	1,564	1,505	1	1	1	1
	達成度					108%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	7.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	54,999	54,684	55,265		
		会計年度任用職員	2,168	2,153	2,544		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	57,167	56,837	57,809		
	物件費計		5,401	6,392	9,067	13,174	68.8%
	歳出計		62,568	63,229	66,876		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			5,401	6,392	9,067	13,174	

5. 総括的分析

総括的分析	予算を効率的及び効果的に執行することにより、健全な財政運営を実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も健全な財政運営、適切な会計事務に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 949

事務事業名称	上下水道財務課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	上下水道財務課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	上下水道財務課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	23,571	23,436	15,790		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,567	23,436	15,790		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		23,571	23,436	15,790		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	適切な事務分担を行うことで、効率的な課の運営ができた。
-------	-----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も円滑的な課の運営ができるよう業務に取り組む。